

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031

住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出下さい。
なお、証券会社に口座がないため、特別口座を開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出下さい。

未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出下さい。

株主の皆様の声をお聞かせ下さい

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答下さい。所要時間は5分程度です。

<https://www.e-kabunushi.com>

アクセスコード
2715

いいかぶ

検索

空メールにより URL自動返信 kaba@wjm.jpへ空メールを送信して下さい。
(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

携帯電話からもアクセスできます QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。
QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。



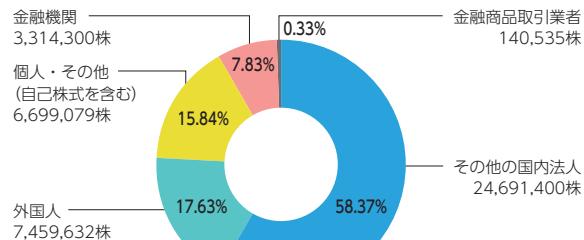
※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2media についての詳細 <https://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL: 03-6779-9487 (平日 10:00~17:30)
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL: info@e-kabunushi.com

株式の状況 (2019年9月30日現在)

発行可能株式総数	168,000,000株
発行済株式の総数	42,304,946株
株主総数	2,950名
議決権総数	409,375個

所有者別分布状況 (2019年9月30日現在)



大株主 (2019年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
豊田通商株式会社	24,005	56.74
ビービーエイチ フォー フィデリティ ロープライズ ストック ファンド (プリンシパル オール セクター サポート フォリオ)	2,337	5.52
エレマテック株式会社	1,358	3.21
エレマテック社員持株会	991	2.34
日本スタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	817	1.93
ビービーエイチ フィデリティ ピューリタン フィデリティ シリーズ インタリニシク オポチュニティズ ファンド	800	1.89
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	652	1.54
大阪中小企業投資育成株式会社	583	1.38
日本生命保険相互会社	540	1.28
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口5)	364	0.86

会社概要 (2019年9月30日現在)

商号	エレマテック株式会社 / Elematec Corporation
設立	1947年4月
資本金	2,142,369,800円
社員数	1,174名(連結)、452名(単体)

elematec

エレマテック株式会社
Elematec Corporation

証券コード：2715

第74期 中間報告書

2019.4.1~2019.9.30

2020 Interim Business Report



elematec エレマテック株式会社
Elematec Corporation

〒108-6319 東京都港区三田3-5-27 住友不動産三田ツインビル西館19階

当社ホームページのご案内 <http://www.elematec.com>



elematec



代表取締役会長
加藤 潤

代表取締役社長
横出 彰

今後、需要が見込まれる自動車関連にシフトし、さらなる収益力向上と株主還元に向けてまいります。

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、心より厚く御礼申し上げます。さて、ここに、当社グループの第74期中間報告書をお届けいたします。

当期の事業環境と決算について

エレクトロニクス業界におきましては、IoT関連機器の需要増加や自動車の電装化比率の拡大が進んだ一方で、スマートフォン市場の主に中国での普及一巡に伴う需要停滞等の影響により、電子部品等の生産は低調に推移しました。

こうした環境下、当社グループは、自動車向け各種関連部材の販売に注力しましたが、主にスマートフォンの普及一巡

に伴う需要停滞の影響を受け、当第2四半期連結累計期間の売上高は減収となりました。各段階利益につきましても、売上高の減少に伴い総じて減益となりました。

通期の業績予想及び配当金について

当社グループにおいては、自動車関連ビジネスは順調に拡大を続けておりますが、当初想定した新規案件の受注が遅れていることや、スマートフォン関連ビジネスが市場の低迷を

背景に想定を下回る水準で推移していること等をふまえ、2019年10月28日に発表しましたとおり、通期連結業績予想を下方修正いたしました。配当金については、業績予想の下方修正をふまえ改めて算出し、当期の中間配当金につきましては1株当たり17円とさせていただきます。また、期末配当予想につきましては1株当たり22円とさせていただき、これにより年間配当金は39円を見込んでおります。

上記決算内容と通期連結業績予想及び配当額の方修正を行ったことにつきまして、株主の皆様にはご心配ご迷惑をお掛けしましたことを深くお詫び申し上げます。

事業環境の悪化により非常に厳しい状況が続きましたが、上期の業績を底に明るい兆しもみられています。下期は引き続き成長市場への販売活動に重点的に取り組み、特に100年に1度の変革期を迎える自動車市場の動向や、自動化及び省力化の普及拡大にいち早く対応できるよう、スピード感のある事業展開を行ってまいります。

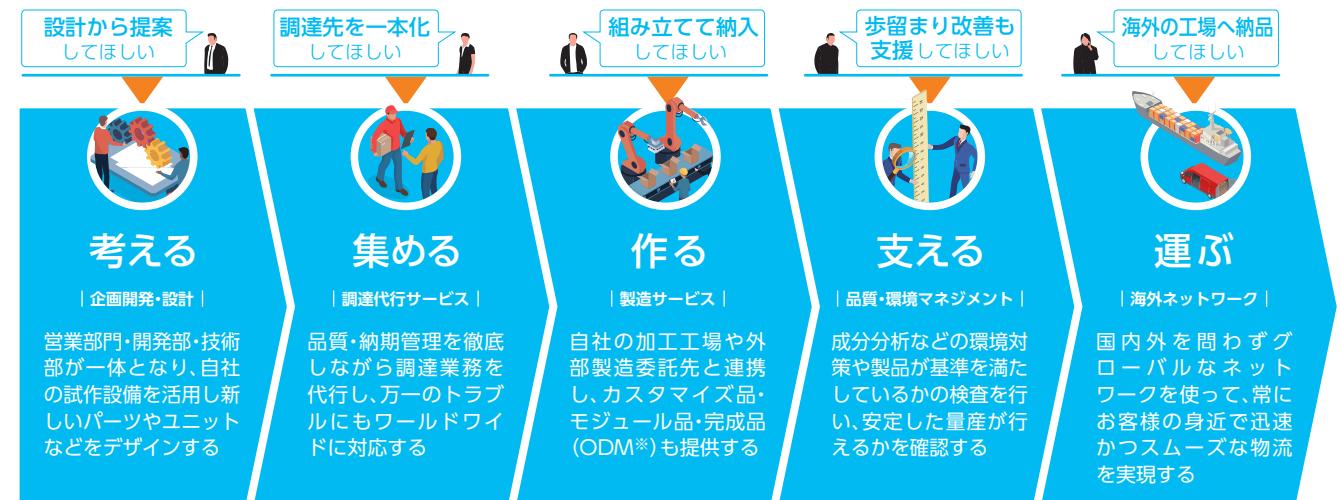
elematecの5つの機能を 活用した事業展開について

前述のとおり、当社グループを取り巻く事業環境は一層厳しさを増しており、市場競争はさらに激しくなっていくものと見込まれます。こうした環境変化に着実に対応していくために、当社グループ独自の「5つの機能」をベーシックな商社機能に付加することにより、幅広いサービスの提供に努めてまいります。企画開発・設計から調達代行サービス、製造サービス、品質・環境マネジメント、国内外の拠点ネットワークを活用した物流までの機能をワンストップで提供できる統合サービス企業として、これからもお客様に選ばれ続けるために、「5つの機能」を有機的につなぎ付加価値を提供してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、切にお願い申し上げます。

2019年12月

elematecの5つの機能



※ODM…他社ブランド製品を設計～製造まで行うこと(当社では製造は外部へ委託)

財務ハイライト

決算のポイント

主にスマートフォン関連部材の販売減により、前年同期比で減収減益となりましたが、従前より特に注力している自動車向けビジネスや医療機器向けビジネス等の売上高は着実に拡大を続けております。

Digital Electronics スマートフォン等向け 関連部材の販売減	40,655 百万円 前年同期比 9.3%減	Automotive 自動車の電装化比率の拡大 に伴う関連部材の販売増	13,609 百万円 前年同期比 1.9%増	Broad Market 医療機器等向け 関連部材の販売増	33,792 百万円 前年同期比 7.5%増
--	---	--	---	--	---

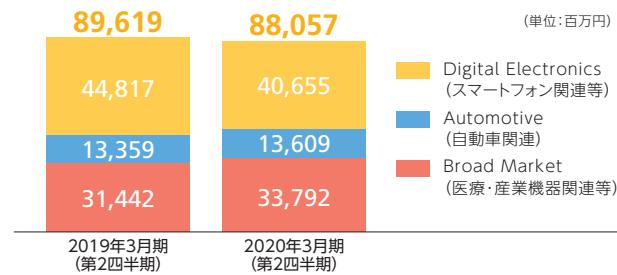
第74期 2020年3月期 (第2四半期)

売上高 **880億5千7百万円**
(前年同期比1.7%減)

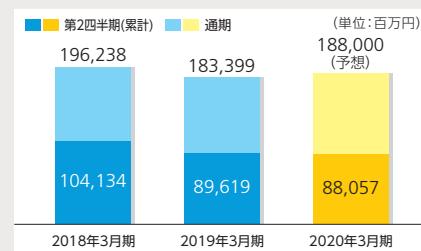
経常利益 **22億6千2百万円**
(前年同期比22.7%減)

親会社株主に帰属する
四半期純利益 **16億7千1百万円**
(前年同期比21.4%減)

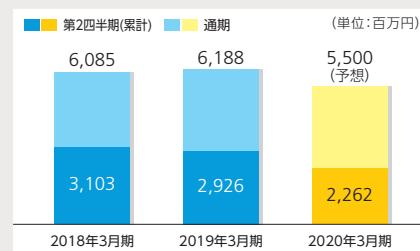
マーケット別売上高



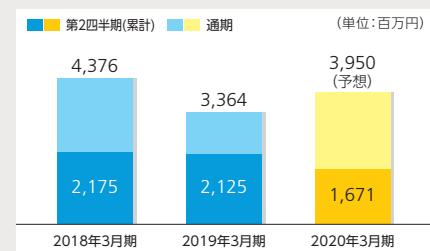
売上高



経常利益



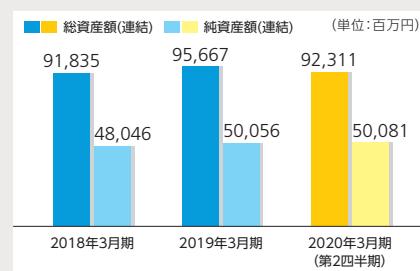
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



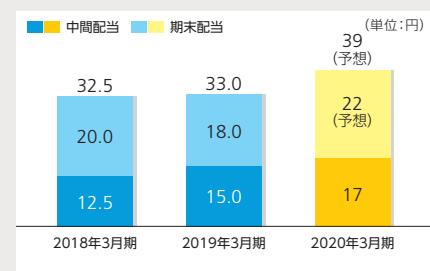
自己資本比率



総資産額・純資産額



1株当たり配当金*の推移



*当社は2019年6月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。2018年3月期の期首に株式分割が行われたと仮定して1株当たり配当金を算定しています。
(注)株主の皆様への利益配分を経営の重要課題と位置づけ、中期的な業績見通しや投資計画に基づくキャッシュ・フローの状況を勘案し、配当性向(連結)40%以上を基本方針としています。

連結財務諸表

連結貸借対照表(要旨)

科目	期別	
	前連結会計 年度末 (2019年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間末 (2019年9月30日)
▼資産の部		
流動資産	90,495	86,962
固定資産	5,172	5,348
有形固定資産	2,390	2,789
無形固定資産	691	610
投資その他の資産	2,090	1,948
資産合計	95,667	92,311
▼負債の部		
流動負債	44,291	41,012
固定負債	1,318	1,217
負債合計	45,610	42,229
▼純資産の部		
株主資本	48,992	49,927
その他の包括利益累計額	1,063	154
純資産合計	50,056	50,081
負債純資産合計	95,667	92,311

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2020年3月期連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
修正予想 (百万円)	188,000	5,700	5,500	3,950
対前回予想 増減率(%)	△ 6.5	△ 15.6	△ 15.4	△ 13.2

連結損益計算書(要旨)

科目	期別	
	前第2四半期 連結累計期間 (2018年4月1日～ 2018年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (2019年4月1日～ 2019年9月30日)
売上高	89,619	88,057
売上原価	80,474	79,498
売上総利益	9,144	8,559
販売費及び一般管理費	6,096	6,232
営業利益	3,048	2,326
営業外収益	113	98
受取利息	44	46
その他	69	52
営業外費用	235	163
支払利息	2	12
為替差損	214	135
その他	18	14
経常利益	2,926	2,262
特別利益	-	5
税金等調整前四半期純利益	2,926	2,268
法人税等	800	596
四半期純利益	2,125	1,671
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,125	1,671

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

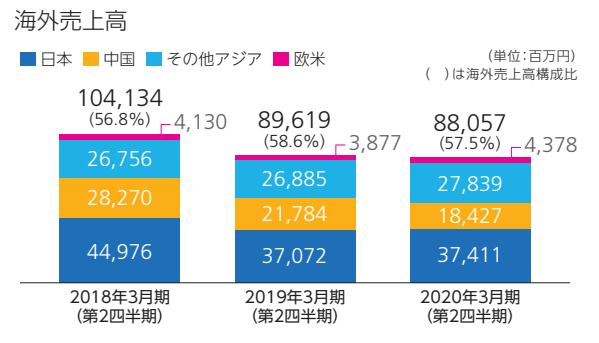
連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

科目	期別	
	前第2四半期 連結累計期間 (2018年4月1日～ 2018年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (2019年4月1日～ 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,564	678
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 96	△ 96
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 827	△ 817
現金及び現金同等物に係る換算差額	395	△ 658
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,036	△ 893
現金及び現金同等物の期首残高	25,893	25,714
現金及び現金同等物の四半期末残高	28,930	24,821

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

サービスネットワーク (2019年9月30日現在)

つながりを広げ、可能性を広げるために。



身近なところで活躍する エレマテック

エレマテックが提供する電子材料などは、日常の中にある身近な製品や、輸送機器、産業用ロボット、医療機器といった、社会をつくるさまざまなモノに使われています。エレマテックは、あなたの暮らしをいつもどこかで支えています。

- 自動車**
 - ヘッドランプ用部材
 - ヒーター
 - カーナビ用前面板
 - バックアイカメラ
 - センサー
- ドローン**
 - プロペラ
 - モーター
 - カメラ
- 医療機器**
 - 超音波診断装置用サブASSY(アッシー)*
 - モニター
 - プローブ
 - ※複数のパーツが組み合わされたユニットのこと。
- ロボット**
 - ロボット本体
 - 関連システム
- ゲーム機**
 - VR用部材
 - 放熱部材
 - ハーネス
- IoT家電**
 - ODM
- スマートフォンの部品**
 - ガラス
 - 光学フィルム
 - テープ
- ドライブレコーダー**
 - ODM*
 - ※他社ブランド製品を設計～製造まで行うこと。(当社では製造は外部へ委託)